



美しい山・川・海  
人が躍動する 交流と共生のまち

## 今月号の主な内容

- ・10月1日から“町民バス”を運行 … P. 2～ 3
- ・行政トピックス … P. 4～ 9  
    こんにちは町長です
- ・まちの出来事 … P.10～ 11
- ・キラリ香美町 … P.12  
    (別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)

ふるさと

香美



8

香美町広報  
平成20年8月号  
(第41号)

【写真】大輪乱舞、日本海を七色に染める

### 第31回香住ふるさとまつり 海上花火大会

7月26日、第31回香住ふるさとまつりで行われた海上花火大会。今年も町内外から訪れた家族連れなどで会場は大賑わいでした。

打ち上げられた約2,000発の花火の大輪が海面を七色に染め、詰め掛けた約46,000人の観客が感動の渦に包まれました。

# 全但バス路線休止で

# 10月1日から「町民バス」を運行

但馬全域の地域交通を担ってきた全但バス株式会社が昨年9月、経営難を理由に平成20年10月1日から大幅にバス路線を休止（運休）する計画を発表しました。バス路線は住民の生活に欠かせない重要な日常の交通手段であり、香美町では、これに対応するため「町民バス」による代替運行を行うことにしました。

## 香美町では1/3の路線が休止

全但バスが打ち出した計画では、香美町内で現在運行されている8路線44系統のうち約1/3にあたる2路線20系統を休止するというもので、香美町全域と香住区・村岡区を連絡する村岡香住線がなくなることになりました。

自家用車の普及や過疎化による人口減などにより近年路線バスの利用者が大変少なくなっています。一方で最近の燃料費などの高騰により、バス運行の採算性が相当厳しさを増していました。

しかし、路線バスは児童生徒の通学や高齢者などの通院には欠かせない重要な役割があり、町ではその休止代



▲休止となる村岡香住線の全但バス車内。子どもたちの大切な通学の手段などにもなっています。

替交通をどう確保していくかについて検討を進めてきました。

## 町地域公共交通会議で協議

町では道路運送法に基づき「香美町地域公共交通会議」を発足、昨年11月30日に第一回会議を開催しました。

一方で、町内での路線バスの利用状況は区ごとに色々な違いがあり、今回の全但バス路線休止に対してもそれぞれ地域の実情に応じた対応をする必要がありました。そこで、「町地域公共交通会議」に加えて香住区・村岡区・小代区それぞれに「公共交通懇話会」を設置し、関係住民を代表する皆さんが集まっていただき、学校の登下校や高齢者などの利用実態、効率的なバスの運行、また町の財政負担の見直しなどについてさまざまな角度から検討していただきました。そのなかで、代替



案をまとめ、今年4月から5月にかけて開催された各区自治会長（区長）会や5月に町内10会場で開催した町政懇談会で説明するとともに、広く町民の皆さんのご意見をお聞きしました。

## 10月1日から町民バスを運行

町では、町民の皆さんからのご意見を踏まえ、代替案の内容の一部見直しを行い、最終的には7月2日の第3回町地域公共交通会議において、次のとおり10月から町民バスによる代替運行（全但バスに委託）を行うことを決定しました。



# 全但バス路線休止後における町民バスの運行便数

現 状 〔全但バス〕	平成 20 年 10 月 1 日～ 〔町民バス〕
<b>○村岡香住線</b> 平日 村岡～香住 8 往復 土曜日 " 5 往復 日曜祝 " 3.5 往復	<b>●村岡香住線</b> 平日 村岡～香住 3 往復 ※うち 1 往復は境で乗り継ぎ 境～村岡 2 往復 境～香住 0.5 往復 土曜日 境～村岡 2 往復 ※土曜日は中学校部活対応
<b>○余部線</b> 平日 御崎～余部 3.5 往復 余部～香住 4.5 往復 土曜日 余部～香住 4 往復 日曜祝 余部～香住 3 往復	<b>●御崎相谷線</b> 平日 御崎～香住 3 往復
<b>○相谷線</b> 平日 相谷～香住 4 往復 ※水曜日を除く 土曜日 相谷～香住 4 往復 日曜祝 相谷～香住 4 往復	<b>●御崎相谷線</b> 平日 相谷～香住 2 往復 佐津～相谷 0.5 往復
<b>○畑線</b> 平日 畑～香住 4 往復 土曜日 " 4 往復 日曜祝 " 3 往復	<b>●畑香住線</b> 平日 畑～香住 1.5 往復 佐津→畑(止) 0.5 往復
<b>○三川線</b> 水曜日 三川～畑 2 往復	<b>●畑香住線</b> 木曜日 三川～畑 1 往復 のみ
<b>○土生線</b> 水曜日 土生～下岡 1.5 往復	<b>《土生線：路線休止》</b> 木曜日 予約により JR 佐津駅 のみ まで町が送迎
<b>○香住竹野線</b> 平日 相谷～竹野 4.5 往復 ※水曜日を除く 土曜日 " 4 往復 日曜祝 " 4 往復	<b>●香住竹野線〈豊岡市運行〉</b> 平日 相谷～竹野 1.5 往復 ※調整中

※ 8 月から佐津診療所が休診となりましたので、JR 佐津駅から香住病院まで、患者さんを週一回木曜日に送迎しています。これに合わせて三川線を木曜日に運行、相谷線の朝便は木曜日に運休とします。

## ■基本的な考え方

- ① 現在、終日定時的に運行されている便のうち、相当の利用者がある便は限られているという実態を踏まえ、利用者の多い時間帯の便を中心としたダイヤでの運行を行う。
- ② 実態として利用者数が極端に少なく運行効率の悪い路線については、休止する。
- ③ 土日祝日は、運休を基本とする。ただし、土曜日については中学校の部活動対応のみ運行する。  
(休止対象路線でない相岡線、板仕野線、八子北線については、平成 20 年 4 月 1 日から、日曜祝日は運休し、土曜日は中学校の部活動対応のみ運行している)
- ④ 全町の公平性に配慮しつつ効率的な運行を目指す。

## ■運行方法

休止対象となっている 2 路線 20 系統を次の 3 路線に再編し運行する。  
 ① 村岡香住線、② 御崎相谷線、③ 畑香住線

## ■運行車両

各路線とも車両は 1 台とし、全但バスの車両および現在運行している町民バス(御崎線)車両を活用する。

## ■運行時間帯、便数

主な利用者である児童生徒の通学や病院への通院などに必要な時間帯を中心に、必要な便数を確保する。

## ■運賃

現在全但バスが設定している運賃と同じ額とする。

## ■その他

新たに「鏡駅」、「奥安木」

## 3 年間を実証運行期間

に停留所を設置する。(奥安木は小型車両を運行する朝昼 1 往復のみ運行)  
 ・路線ごとの時刻表は、9 月に全戸配布します。

今年度から平成 22 年度までの 3 年間を実証運行期間とし、運行経費の 1/2 について国庫補助金を受けて町民バスを運行しますが、必要に応じて一部運行方法を見直しながら実施します。

これまでと比べ、大幅減便で皆さんにご不便をおかけする面がありますが、ご理解をいただきますよう、よろしくお願い致します。



## ●問い合わせ先

役場総務部企画課

# 平成23年7月24日までに、すべてのテレビはデジタル放送受信に切り替えを

平成23年7月24日までに、すべての地上テレビ放送は、アナログからデジタルへ変わります。ある日突然、「テレビが映らない」ということにならないように、ご準備をお願いします。

## なぜデジタルに？

近年、テレビ・ラジオをはじめ各種の無線や携帯電話が普及し、国内の電波が非常に不足してきています。

これからの社会発展のためには、さまざまな技術やサービスの提供を可能とする電波が、さらに必要となります。

そこで、電波を効率のよいデジタル方式へ移行し余裕をつくることで、電波を有効活用できるようにになります。

また、デジタル化により、通常の番組だけでなく、防災や医療などの情報サービスも充実し、これからの高齢化社会に対応した誰もが便利で安心した暮らしに役立つものとして、デジタル放送の活用がさまざまな分野で、大いに期待されています。

## どうしたらいいの？

### ① 個別受信でテレビの買い替えを考えている人

地上デジタル放送対応テレビを購入してください。(UHFアンテナの取り替えが必要な場合があります)



※このマークが付いた製品はデジタル放送の受信に対応したものです。



※UHFアンテナ

### ② 個別受信で今までのテレビで見たい人

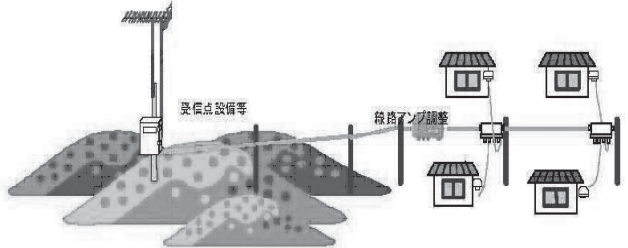
現在使用中のテレビで見るには、デジタルチューナー(現在、DVDレコーダーに内蔵されたものや衛星放送と共用のものも多く販売されています)を購入し、テレビに接続してください。(UHFアンテナの取り替えが必要となる場合があります)なお、デジタルチューナーは、テレビごとに備える必要があります。



### ③ 共同受信施設を利用している人

ほとんどの施設で設備の改修が必要になります。改修に必要な費用などについては、加入している共聴組合で確認してください。

また、各家庭においては、地上デジタルテレビ、またはデジタルチューナーの購入が必要です。



### ④ ケーブルテレビへの加入を考えている人

民間ケーブルテレビ会社に地上デジタルテレビ放送の視聴方法を確認してください。

町内では、(株)ケイ・オプティコムによるサービスが行われています。

お問い合わせ先  
 ・ ☎ 0088・25・1010  
 ・ ホームページ  
<http://eonet.jp/service/>

### ● 問い合わせ先

○ 地上デジタル放送について

・ 総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター  
 ☎ 0570・07・0101  
 (午前9時～午後9時、土日祝日は午後6時まで)

・ 総務省近畿総合通信局放送課  
 ☎ 06・6942・0820  
 (平日午前8時30分～午後5時15分  
 ホームページ  
<http://www.ktab.go.jp/2011>)

○ 地上デジタル放送の受信や機器の操作などでお困りの場合  
 「デジタル110番」  
 ☎ 0570・01・0186

○ 地上デジタル放送全般について  
 役場総務部企画課

● 地上デジタルテレビ放送に便乗した架空請求などの悪質商法には十分ご注意ください！



不審な請求書やビラの配布などがありませんでしたら、地上デジタルテレビジョン放送受信相談センターや最寄りの警察署または役場企画課までご連絡ください。



# 突然襲う土砂災害

# 身を守るのは「早めの避難」です

台風シーズンには、集中豪雨が降り、土砂災害発生危険性が高まります。

日ごろから土砂災害に関する防災情報に注意を払い、危険な箇所や避難路・避難場所・避難方法を把握しておきましょう。また、高齢者などには日ごろから声を掛け合い、災害時にはいつしよに避難しましょう。

災害時には、危険な場所には近づかないようにし、町の防災無線などにも注意し、安全に、早めの避難を心がけましょう。



土砂災害の多くは雨が原因で起こります。気象予報などさまざまな情報に気を配りましょう。



非常用持ち出し袋を準備しておきましょう。ラジオや携帯電話なども忘れずに。

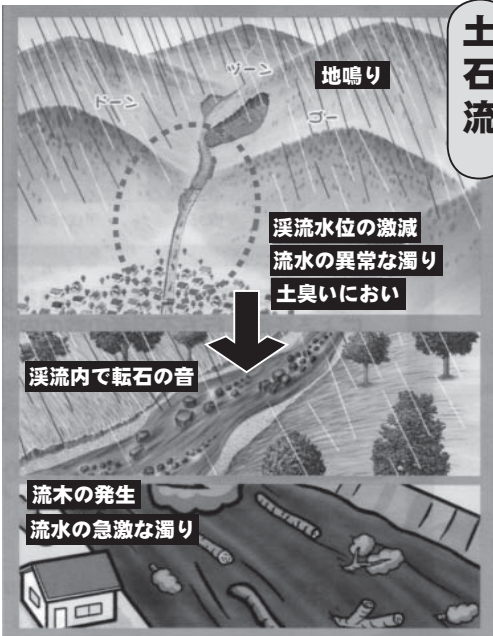
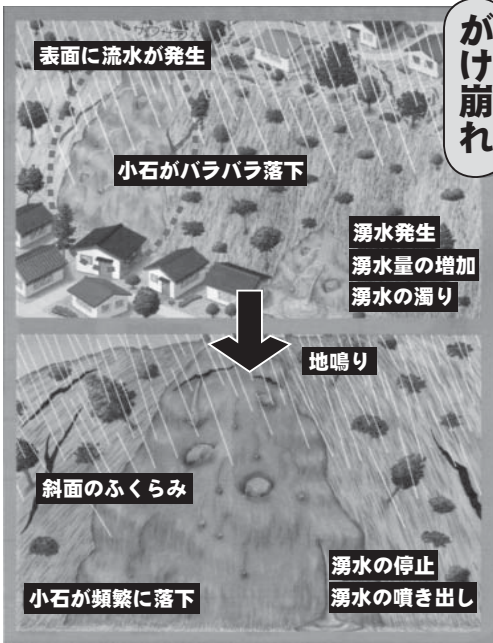


台風や雨量の情報、周囲の前兆現象など、異変を発見したら早めに避難しましょう。役場や自治会・区などから避難の呼びかけがあったら、すぐ避難しましょう。お年寄りなど災害時要援護者は移動時間を考えて早めに避難させましょう。



前兆現象の確認や避難勧告により指定の場所へすぐに避難

## 〔土砂災害には、こんな前兆現象があります〕



## 香美町の出身者が全国大会で活躍

2008年全国高校総合体育大会出場

●西川英希くん

(神戸市立科学技術高等学校3年、香住区駅前)



中学校入学直前からソフトテニス協会(町体育協会所属)の指導を受け始めた西川くん。香住第一中学校で男子ソフトテニス部に入学し、中学3年生の時の県大会3位入賞をはずみに、さらに躍進。高校では、クラブのキャプテンをしています。

西川くんは「香住第一中学校やソフトテニス協会の皆さんに少しでも恩返しができるよう、がんばって1試合でも多く勝ち進みたいです。また、秋の国体出場も目指し練習に励みます」と抱負を語ってくれました。

## 第90回全国高等学校野球選手権大会出場

●瀨本力也くん

(鳥取県立鳥取西高等学校3年、香住区一日市)



香住第一中学校に入学し野球部に入学してから本格的に野球を始めたという瀨本くんは、今回の大会出場について「自分のできることをしっかりとやってチームを盛り上げたい」と抱負を語ってくれました。

また、「しんびいことも多いと思いますが、自分の好きなスポーツ、野球を楽しんでがんばってほしい。好きでないとまくならない。自分も苦しいときに、チームメイトに支えてもらいました。チームメイトを大事にしてください」と皆さんにエールを送ってくれました。

## 平成19年度中に新たに 漁業に就業した人を激励

町の基幹産業である漁業の後継者育成の一助として二年前から行っている新規漁業就業者激励会。3回目となる今年も、昨年度中(平成19年4月1日〜今年3月31日)に漁業に就業した4人(但馬漁業協同組合香住本所・柴山支所所属の船に乗船)に、合羽や長靴などの記念品を贈りました。

7月9日、役場本庁舎で開催した激励会には3人が出席。藤原町長が「若い力で、漁業がさらに活発になるよう活躍してほしい」と激励し、記念品の目録を手渡しました。今年3月から第一加登丸(香住本所所属小型ベニズワイガニが漁船)に乗船している高橋裕孝さん(香住区境)は「初めて乗った日は船酔いしましたが、今は大丈夫。たくさん取れた日はとてもうれしい。魅力があります」と笑顔で語ってくれました。



▲藤原町長から記念品を受け取る久保有起さん(柴山支所所属の「栄正丸」、高橋裕孝さん、膳所智己さん(香住本所所属の「大祐丸」)(左から)

## こんにはすは町長です

ふるさと納税

都会にお住いの方々から、その住所地の市町に納めておられる住民税等の一部を、ふるさと納税に寄付していただく「ふるさと納税制度」がスタートしました。

香美町も、7月初めから、町民の皆様や同級生などを通してお願いしていたいただき、7月末現在で、約百名の方々から四百万円を超える申込みをいただきました。

わずか1ヵ月足らずの間に、これだけ多くの方々のご協力をいただきましたこと、心から厚くお礼申し上げます。

都会に出ておられる方々の、ふるさとへの熱い思いに十分応えていくよう、一層まちづくりを努力していかねばと、痛感しているところです。

町民の皆様には、引き続き、お知り合いの方々へ声をかけていただき、一人でも多く「ふるさと香美町」の応援団になっていただくよう、よろしくお願いいたします。

香美町長 藤原久嗣



## 香住海岸ルネッサンス計画

# 「しおかぜ香苑」完成

すでにご利用いただいている埋め立て造成地「しおかぜ香苑」。このたび、その西端にシンボルテントやすり鉢状の観客席、香住小学校にあつた「燈籠の松」の二世などを移植した緑地などが整備され、交流広場が竣工。「しおかぜ香苑」が完成しました。

### ●使用について

しおかぜ香苑は、町民の皆さんが、散策やスポーツ、レクリエーション、交流事業などの目的に無料でご利用いただけます。

ただし、交流広場（休憩所およびシンボルテントを含む）、子ども広場、運動場、多目的広場を、各種大会やイベントなどで、占有して使用する場合は、使用する日の10日前までに申請書を提出してください。（使用日の1カ月前から申請可）

また、しおかぜ香苑での物品販売などの営業行為、バーベキュー、火気の使用、そのほか公園管理上支障がある行為を禁止します。ただし、地域イベントなどで事前に許可を受けた場合に限り、営業行為を行うことができます。

### ●駐車場の使用について

しおかぜ香苑の利用者以外の方の駐車は、ご遠慮ください。ただし、しおかぜ香苑の利用者以外の方で、町の許可を受け使用料を納めた場合は、駐車することができます。

・使用料の例：普通車、軽自動車の場合、1区画月額3000円

### ●問い合わせ（申請）先

役場総務部企画課

## 皆さんの声を町長へ！

『町長へのご意見箱』行きハガキのご利用について

より多くの町民の皆さんのご意見をお聞かせいただくため、『町長へのご意見箱』行きのハガキをご用意しました。

町政に対するご意見やご提案は、左のハガキにご記入いただき、点線に沿って切り離し、切手を貼らずにお近くの郵便ポストへ投函してください。

また、『町長へのご意見箱』は、ホームページ、ファックス、封書などでもお受けしておりますので、是非みなさまのご意見をお寄せ下さい。

・ ホームページ <http://www.town.mikata-kami.lg.jp/>  
・ ファックス 0796・36・3800

なお、ご提案などの内容を匿名で広報紙や町のホームページなどに掲載する場合があります。

### ●問い合わせ先

役場総務部企画課

（切り取り線）

郵便はがき

669-6590

香住郵便局 私書箱 3号

香美町役場

町長へのご意見箱

行

料金受取人払郵便



差出有効期間  
平成22年4月  
30日まで  
(切手不要)



美しい山・川・海 人が躍動する 交流と共生のまち

※このハガキは、町政に対するご意見・ご提案等、みなさまの声を町長にお届けいただくためにご利用いただくものです。なお、連絡先欄のご記入がない場合は、お返事ができませんのでご容赦ください。

**平成 19 年度 全国山林苗畑品評会  
最高位 農林水産大臣賞受賞  
山本弘毅さん (村岡区口大谷)**



植林用の苗木の品質を競う平成 19 年度全国山林苗畑品評会で、山本弘毅さんが最高位の農林水産大臣賞を受賞、兵庫県では 11 年ぶりの快挙となりました。

山本さんは、昭和 50 年から苗木生産を始め、地元の郷土品種である兎塚スギを中心に良質の苗木を生産。土作りにこだわり山畑生産を続け、休耕畑に生えた草などをすき込み、有機物が多く、ミミズなどの土壌生物がたくさん生息する自然な土壌で苗木作りをしています。

妻の綾野さんも当初から苗木作りを手伝い、冬場は杜氏に出かけるご主人に代わり、出荷や選別も行っています。お二人で県内外へ勉強に出向くなど試行錯誤の結果、自然に近い今の土作り、苗木作りに落ち着いたそうです。

山本さんは「雪や動物などによる被害もありますが、いかに効率よく、根がしっかりした丈夫な苗木を提供できるか。一にも二にも土作りです」と語りました。

**緑の募金 町全体で 1,450,280 円  
ご協力ありがとうございました**

▶ 小代区で植われたアオダモの植栽



今年度呼びかけました緑の募金は、昨年を大きく上回り、町全体で 1,450,280 円となりました。多くの皆さんにご協力いただき、ありがとうございました。

今年度の募金は、町内の小中学校の花壇の整備をはじめ、香住区では大乘寺周辺の里山への広葉樹の植栽、村岡区では子どもたちの森林学習体験のための資材整備、小代区では少年野球の児童たちによるアオダモの植栽などに活用する計画となっています。今後も緑豊かな個性あるまちづくりを推進していきますのでご協力をよろしくお願いします。なお、緑化事業をご計画の集落はご相談ください。

●問い合わせ先 役場産業部農林水産課

**おめでとうございます！  
町内から表彰受賞者がありました**

●第 52 回兵庫県保健衛生大会知事感謝  
保健衛生・環境美化模範地区  
村岡区入江地区

●兵庫県愛育連合会会長表彰 優良愛育班員

今後静子さん (村岡区味取)

谷淵正恵さん (村岡区長瀬)

西坂喜代子さん (村岡区山田)

井二春子さん (小代区石寺)

(順不同)

**町職員人事異動**

●退職 (7 月 31 日付)

本田正史 (公立香住病院泌尿器科医長)

●異動 (8 月 1 日付)

【主査級】

健康福祉部町民課 福島壽史 (建設部上下水道課)

建設部上下水道課 長谷川和也 (健康福祉部町民課)

兎塚・川会・原診療所 田淵泉 (村岡地域局健康福祉課)

【主事級】

健康福祉部福祉課 西谷雄紀 (兎塚・川会・原診療所)

(※カッコ内は旧職)

**町長へのご意見箱**

ご意見・ご提案等の内容

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

〈切り取り線〉

ご連絡先	ご住所
	ご氏名
	お電話番号



# 求 人 情 報

## ハローワーク香住（職業安定所）

☎0796・36・0137

（平成 20 年 7 月 20 日現在、順不同）

▽正社員					▽パートほか（正社員以外）				
所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数	所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数
香住区七日市	(株)蔵平水産	製造包装員	不問	3	香住区七日市	(株)蔵平水産	製造包装員	59 以下	2
香住区境	モリタ食品(株)	水産加工	不問	2	香住区境	モリタ食品(株)	水産加工	不問	2
香住区沖浦	(株)カネト水産	水産加工員	不問	3	香住区七日市	やまだ歯科医院	歯科衛生士	不問	2
香住区七日市	やまだ歯科医院	歯科衛生士	不問	2	香住区香住	たじま農業協同組合	訪問介護員	不問	3
香住区一日市	遊覧船かすみ丸(有)	販売	不問	1	香住区香住	(株)コメリ中四国地区本部	販売員(香住店)	不問	2
香住区若松	(有) K-SIN TRANSPORT	運転手	不問	2	香住区香住	(有) 三七十	雑役	不問	1
香住区香住	(有) 三七十	調理師見習	不問	1	香住区香住	ローソン香美町香住店	コンビニ店員	不問	2
香住区間室	(有) 北近畿環境開発	機械設備管理補助	59 以下	1	香住区香住	(株)トヨタ	販売(イトバリュウ香住店)	不問	2
香住区隼人	マルカツ水産(株)	工場管理者	不問	1	香住区香住	(株)マルワ渡辺水産	水産加工員	不問	3
香住区香住	(有) もりひろ商店	水産加工員	不問	1	香住区七日市	ヤマモトロープ	販売	不問	2
香住区香住	(株)マルワ渡辺水産	販売事務・営業	不問	1	村岡区七日市	ほかほか弁当但馬飯	弁当の製造販売	不問	1
香住区下岡	香住食研(株)	食品製造	不問	5	村岡区大楾	(株)コメリハードアンドグリーン村岡店	販売員	不問	2
村岡区高井	入江精密工業(有)	出荷事務員	35 以下	1	村岡区村岡	村岡日石(株)	給油・洗車スタッフ	不問	2
村岡区村岡	エイフ電器(株)	一般組立製造工	40 以下	2	村岡区大楾	(株)ナカケー	レジ部(村岡店)	不問	2
小代区野間谷	SHT 兵庫(株)	生産技術者	不問	1					
		開発設計技術者	不問	1					



### 第 31 回香住ふるさとまつり

#### 多くの住民協賛金や募金をありがとうございました

今年のおふるさとまつり開催にあたり、香住区内の各世帯にお願いしました住民協賛金の総額は、2,963,053 円（前年比 + 9,390 円）でした。

また、今年から花火大会の企業スポンサー料の減少を補うため、広く募金を呼びかけることとしました。町内の公共施設をはじめ各種イベント、また当日も花火会場や駐車場などで募金活動を行い、その総額は 430,831 円でしたのでご報告します。

多くの皆様にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

第 31 回香住ふるさとまつり総合委員会

お誕生 こんにちば、赤ちゃん

ご逝去 慎んで、お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。



※このコーナーは、先月（7/1～7/31）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

※このコーナーは、先月（7/1～7/31）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

### ●役場各課など主な施設の連絡先

役場本庁舎	36・1111(代表)				
総務課	36・1111	企画課	36・1962	税務課	36・1113
町民課	36・1110	健康課	36・1114	福祉課	36・1964
観光商工課	36・3355	建設課	36・1961	上下水道課	36・0420
村岡地域局	94・0321(代表)	小代地域局	97・3111(代表)	会計課	36・4321
教育委員会	94・0101	香住分室	36・3764	農林水産課	36・0846
公立香住病院	36・1166	公立村岡病院	94・0111	議会事務局	36・1963
香住老人福祉センター	36・5008	村岡老人福祉センター	98・1000		
小代高齢者生活支援センター	97・2202				

（全ての施設の市外局番：0796）

# まちの出来事

尼崎市との交流事業「笹の葉プレゼント」  
ふるさとの笹の葉で七夕まつりを

(小代区)

尼崎市との親善を進める会「尼美会」(宮脇寿一会長、小代区貫田)と町は、昭和62年から毎年七夕に、交流都市の尼崎市内の公立幼稚園に、笹の葉をプレゼントしています。



▲園児に笹を手渡す宮協会長

▼笹のプレゼントに、はしゃぐ園児たち



今年も7月3日に、尼崎市立立花幼稚園で贈呈式が行われ、市内18園に1500本の笹をプレゼントしました。

笹の葉は、小代区内の竹林から同会の会員と町職員とが2日ばかりで切り出しました。切り出した笹の葉は、2tダンプに積み込み、尼崎市で楽しみに待っている園児のもとへと運ばれました。

宮協会長から笹の葉を手渡された立花幼稚園の園児たちは、全員で「ありがとう」とお礼を言い、大きな声で「たなばたさま」を合唱してくれました。

▼大勢の行楽客で賑わうバザー



また、今回は伊井武光さん(村岡区熊波)が作詞作曲した「猿尾滝慕情」のお披露目もあり、歌を通じて猿尾滝の魅力がPRしていました。

会場では、地元の皆さんが、バザーやカラオケ大会、魚のつかみ取りなども催し、大変賑わっていました。

梅雨の終わりを感ぜさせる7月13日、村岡区日影の日本の滝百選の一つ「猿尾滝」で第18回猿尾滝まつりが開催され、町内外から涼を求めて多くの行楽客が訪れました。

毎年恒例となっているメインイベントの「そうめん流し」では、60mのコースが用意され、家族連れ約750人が参加。西村仁君(2歳、村岡区秋山)は、流れてきたそうめんを上手に取って「おいちい、おいちい」と食べていました。



▲そうめん流しに長蛇の列

第18回猿尾滝まつり  
木洩れ日のなか、流しそうめん

(村岡区)

▼魚のつかみ取りやそうめん流しなどで子どもたちも大喜び



谷間の地形を生かした輪光園は、手作りの炭窯も作られ、炭出し体験や魚のつかみ取り、そうめん流し、野草の天ぷらなどが行われ、参加者は地元の豊かな自然を満喫し、交流を深めました。

林田彩花さん(香住区小原、長井小6年)は「シコベまつりでは、炭出しや、野草の天ぷらを食べたり、珍しいことができて楽しい。クズの天ぷらが意外とおいしい」と話してくれました。

7月13日、香住区小原で、地元の青壮年からなる「五輪の友」による「シコベまつり」が開催されました。

住民が憩えるよう五輪の友が集落奥のシコベ谷に整備した公園「輪光園」を会場に、長井地区公民館も協賛し、子どもからお年寄りまで約150人が参加。地域を挙げての催しとなっています。



▲クズやイカリソウなど野草の天ぷらも大人気

シコベまつり  
地元の自然を満喫!

(香住区)



第31回ふるさと小代夏まつり  
小代区挙げての夏祭り、大盛況

(小代区)

7月19日、小代区大谷のゴンドラステーション駐車場で、第31回ふるさと小代夏まつりが開催されました。

地元の婦人会や青年部などによる夜店がずらりと並んだ会場では、大勢の来場者が次々行われるステージショーなどを楽しみ、小代区挙げての夏祭りは大いに賑わっていました。



▲会場は観客で満員

▼オジレンジャーが大活躍



ステージでは、県立村岡高等学校吹奏楽部の演奏や香美町商工会青年部小代支部による芝居「香美超戦隊オジレンジャー登場」、地元ロックグループによる演奏などが行われ、祭りの夜を大いに盛り上げていました。また、同商工会青年部小代支部が製作した子どもが見守り活動

▼完成した見守り活動と呼びかける看板



の除幕式が行われました。できあがった看板を見た子どもたちは「あつ、ここに僕が写ってる」と友達とうれしそうに教え合っていました。

第18回矢田川まつり  
清流矢田川をいつまでも

(村岡区)

7月19日、村岡区長瀬の大平公園で、「矢田川をより美しく」をテーマに第18回矢田川まつりが開催され、大勢の参加者が集い、矢田川の水辺を生かしたイベントやバザーで楽しいひと時を過ごしました。

式典では、射添小学校5・6年生の金管バンドによる演奏をオープニングに、環境作文優秀作品の表彰と朗読や矢田川まつり宣言のほか、射添小学校の児童によるウナギの稚魚の放流などが行われました。宣言では、射添を考える会女性部の北村ひろみさん(村岡区長瀬)が「森の恵みに感謝し、ごみの減量、生活排水の浄化や環境美化に取り組みしましょう」と呼びかけました。



▲射添小金管バンドによる演奏

また、会場では、アユ釣り大会やニジマス釣り、ニジマスのつかみ取りなどが行われ、大人から子どもまで川遊びを楽しみました。

- ・なお、環境作文優秀作品で表彰された皆さんは、次のとおりです。
- ・上田菜月さん(射添小6年、村岡区川会)
- ・柴田晴加さん(長井小6年、香住区大野)
- ・上田美紗生さん(小代小3年、小代区秋岡)

香美町海の祭典 第31回香住ふるさとまつり  
夏の海辺 今年も盛大に

(香住区)

夏真っ盛りの7月26日、27日にしおかせ香苑や香住浜を会場として、第31回香住ふるさとまつりが開催されました。

初日、天神破魔太鼓の力強い演奏で始まったオープニングステージでは、しおかせ香苑完成記念セレモニーやよさこい踊りなどのステージイベントが行われたほか、このたび完成した「香美町民踊り」が、創作していただいた香美町文化協会舞踊グループの皆さんによって披露されました。



▲オープニングステージで香美町民踊りを披露

海上花火大会では、夜空が割れんばかりの豪快な音とともに打ち上げられた約2千発の花火が、海上をも色鮮やかに染め、観客から大歓声が上がっていました。また、香美町商工会青年部香住支部によって、会場沖の海中にバイオディーゼル燃料で発電した水中灯「海辺のエコライト」が設けられ、水辺を幻想的に演出していました。

▼たらいこぎ大会のマンボウクラスの様子



2日目の「うみのひろば」では、たらいこぎ大会や長靴飛ばしなど小学生を対象としたことも大会、フリーマーケットなどが行われ、大勢の人出で賑わいました。残念ながら、途中から突然の暴風雨と雷によって、「うみのひろば」のすべての催しが、中止となりました。



ふるさとの魅力を訪ねて

# 小代区 (その1)

今回は、小代区 (その1) として、南部に位置する実山、平野、茅野、新屋、熱田、秋岡、東垣、佐坊、鍛冶屋、貴田、忠宮を紹介します。

忠宮、実山エリアには、小代小学校、小代中学校、小代区中央公民館 (小代区地域連携センター)、おじろドーム、小代健康公園などの学校教育、社会教育施設が集まっているほか、高齢者生活支援センターいこいの里 (香美町社会福祉協議会小代支所) があります。

貴田区には、全国棚田百選に選ばれた「うへ山」の棚田が広がり、吉滝キャンプ場と同コテージ村では、キャンプや天体観測などのアウトドアを楽しむことができます。

名勝「吉滝」は、県指定天然記念物で、滝口が前に突き出ており、滝を裏側から見られることから「裏見の滝」とも呼ばれています。

秋岡の山中にある天照皇太神をまつた小代神社の社殿には、30坪あまりの池があり、夏の日照りで田の水に困ったときには、この池を掃除すると必ず雨が降ったという言い伝えから「雨乞いの池」と呼ばれています。また、境内には数々の小代杉の国指定母樹があり、モリアオガエルの生息地としても知られています。

秋岡区では、矢田川の清流を大切にしようと、区の青壮年が中心となり、毎年5月4日に「小代渓谷まつり」を開催し、やまめ釣り大会などが行われています。

新屋区を中心とするエリアには、ナイタースキーが楽しめるミカタスノーパーク、南部高原コテージ村、全国石楠花公園、尼崎市立美方高原自然の家「とちのき村」があり、青少年の野外活動など、多彩な自然体験ができます。また、平成16年に「新屋芸能同好会」が結成、28年ぶりに寿式三番叟と村芝居を復活。地域の郷土芸能となっています。

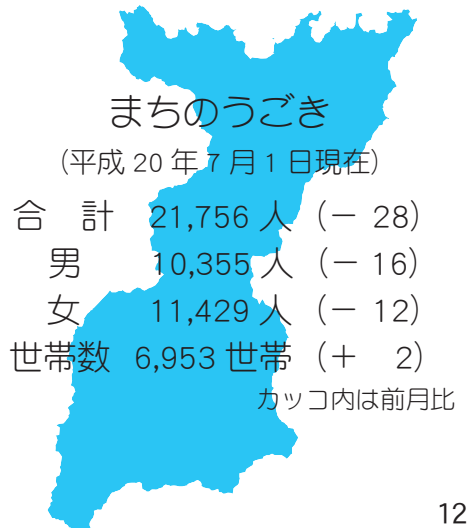
## ◆地区の世帯数と人口 (H20.7.1 現在 町民課調べ)

区名	世帯数	人口			区名	世帯数	人口		
		男	女	計			男	女	計
実山	29	31	28	59	東垣	15	14	19	33
平野	22	31	40	71	佐坊	32	39	42	81
茅野	51	68	62	130	鍛冶屋	20	28	35	63
新屋	54	78	83	161	貴田	45	71	81	152
熱田	7	5	4	9	忠宮	31	44	45	89
秋岡	89	130	148	278	小代区合計	902	1,128	1,291	2,419



「土地柄、山から生活の糧を得ようと思いましたが」これは、今回お話を伺った全国苗畑品評会で農林水産大臣賞を受賞した山本弘毅さんの言葉。山に暮らすものは、無理せず山の恵みを受けて生きる。苗作りも人の暮らしも土地土地に合わせたやり方が一番いい。そんな弘毅さんの考え方が、大切な何かを思い起こさせてくれる気がしました。弘毅さんに話を聞いている間、奥さんの綾野さんはせつせと「らっきよ」の処理をしている。声をかけると、「今年もだいぶ漬けましたわ。体にええらしいですし」と手を休めずに応えてくれました。作業用のトラックの荷台には、立派なキャベツが2つ。「無農薬の虫食いだらけ。スーパーに並ぶとるきれいなものと違うぞ」と日焼けした手でキャベツに触れる弘毅さんは笑顔。自然豊かな土地に暮らす私たち。無い物ねだりをしなくても、すぐそばに、ほかでは得られないものがたくさんありますね。(今西)

編集後記



ふるさと香美 (第41号) 平成20年8月12日発行  
発行/兵庫香美町 企画編集/総務部企画課

〒666-6592 兵庫香美町香美区香住870の1  
tel 0796・36・1111 fax 0796・36・3809

電子メール info@town.mikata-kami.lg.jp  
ホームページ http://www.town.mikata-kami.lg.jp



この「広報ふるさと香美」は、自然環境を考慮してソイインキ、再生紙を使用しています。